

普及現地情報
令和7年2月19日
久慈農業改良普及センター
記述者 宮澤 薫子

品揃え充実に向けた野菜栽培について学びました ～久慈地域産直連絡協議会研修会開催～

久慈地域産直連絡協議会では、2月4日に、産直の品揃えの確保と農薬適正使用を目的に標記研修会を開催し、管内産直の出荷者ら26名が参加しました。

研修会では、株式会社渡辺採種場の桂 健也氏を講師に、植物の生理や近年の天候の解説を交えながら、野菜の施肥や耕起、播種といった栽培管理のポイントを講義いただくとともに、おすすめ品種の組み合わせによる長期出荷体系を紹介いただきました。参加者が講師と意見交換する様子から、今年は品揃えの充実が期待できそうです。

また、普及センター職員を講師とした農薬適正使用の講義では、特に、農薬の残留基準超過事例と原因を紹介し、農薬の使用基準の遵守の重要性を改めて確認しました。

普及センターでは、産直連絡協議会と連携し、四季折々に出荷可能な品目の導入支援など、管内産直の品揃え充実に向けた支援をしていきます。



板書や糖度測定、意見交換を交えながら、来作につながる内容を講義いただき、参加者一同勉強になりました。